

大館市長 福原淳嗣 様

新型コロナウイルス感染症拡大を受けての
大館市への政策要望書

2020年6月19日

大館商工会議所青年部 会長 岸野正寿

日頃より、福原市長におかれましては、市商工団体事業及び青年部活動に対しまして多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、COVID-19（新型コロナウイルス）感染症の全国的な発生・流行を受け、大館市内のあらゆる事業所が影響を受ける中、当青年部会員事業所からも、先行き不透明な今後の事業継続に対する不安の声が上がっております。

こうした中、4月に大館商工会議所・北秋商工会の両会頭・会長より「新型コロナウイルス感染症拡大対策に対する緊急要望書」を提出させていただいておりますが、当青年部会員からも広く意見を募り、ウィズコロナ時代を生き抜いていくため、また、いつか訪れるアフターコロナ時代に向けて、大館市に対する政策要望を取りまとめさせていただきました。市内の若手経営者の視点から、粗削りではありますが市政の一案としてご検討いただくと共に、市におかれましては適時適切な政策・支援を実行していただけますよう、要望いたします。

1. 市内全業種で使えるプレミアム付き商品券の発行について

特別定額給付金が全国民に10万円付与された。これは大館市に70億円ものお金が舞い降りたことになる。このお金の流出を出来るだけ抑えるために、飲食・宿泊のみではなく市内のあらゆる業種で利用できるプレミアム商品券を発行し、市内での消費拡大につなげる。先に申し上げたように、飲食・宿泊以外にも市内のあらゆる業者が影響を受けている。様々な業種に広く使えるプレミアム商品券の発行を検討していただきたい。

2. 衛生基準「大館モデル」の導入について

感染拡大防止の観点から、事業所側もお客様に安心して利用して頂く対策が求められる。スタッフマスク着用・消毒液完備・パーティション設置など、大館市独自で定める衛生基準を策定し、基準をクリアしたお店に認定書や認定ステッカーを発行する。またメディアを通じてコロナ禍における衛生管理意識が高いことを市内外にアピールすることで、大館市全体の経済効果も期

待できる。またこれから夏を迎えるにあたり、飲食店のテイクアウトにおける食中毒対策も早急に周知徹底すべきと考える。衛生基準の導入について検討していただきたい。

3. 移住者・Aターン希望者・子育て世代に対する住居支援について

新型コロナウイルスの発生を受け、都会への就職希望者の割合が減少し、地方への就職希望の割合が増加している。人口減少が顕著な大館市において、市内で働きたいが賃貸家賃の負担を懸念する若者も多い。さらには生活にお金のかかる子育て世代まで含めた、住居環境支援の強化（家賃補助・空き家バンク強化・企業が住居環境を提供した場合の企業への補助・市営住宅など安い家賃での住居の提供等）に力をいれていただき、若い世代が安心して市内で就職・出産・子育てまでできる環境整備について検討していただきたい。

4. オンライン授業・Wi-Fi環境整備について

緊急事態宣言発令を受け、学校教育の観点からは授業の遅れに対する親の不安や9月入学の話題が出るまで、影響は大きいものがあった。令和の時代、コロナウイルスのような感染症はもはや珍しいものではなくなり、いつ有事の事態が発生しても対応できる教育環境の整備が必要となる。オンライン授業化の懸念点である「タブレット端末の個人保有」や「Wi-Fi環境の整備」についての積極的な支援をお願いしたい。またすでに整備が進んでいる公民館等に加え、町内会館等にWi-Fi環境を整備することで、各家庭にWi-Fi環境がなくとも、地域分散型のオンライン授業も可能となる。家庭ごとの格差が出ないような体制整備を検討していただきたい。